

## 反体制派攻勢で新たな局面を迎えるか、リビア情勢

(財) 日本エネルギー経済研究所  
常務理事 首席研究員  
小山 堅

内戦が始まって 6 ヶ月、リビア情勢に新たな動きが出てきた。各種メディアによれば、リビアの反体制派が攻勢を強め、首都トリポリの西方約 50 キロに位置する都市、ザーウィアの制圧にほぼ成功した、との反体制派の見方が報道されるようになっている。

反体制派の主張どおり、ザーウィアが反体制派の手に落ちたとするならば、その意味は大きい。ザーウィアはトリポリに近接している上、内戦の混乱の中、唯一操業を続けている製油所（能力 12 万 B/D）等の重要石油関連施設を有している。さらに、ザーウィアはトリポリからチュニジア国境等に向かう交通の要衝に当たり、様々な物資の補給・兵站の観点でも極めて重要な位置を占めているからである。

石油（製品）の供給確保は、市民生活・経済活動の通常の運営に欠かすことができない上、軍事活動を支える面でも最重要物資である。国内製油所の操業が止まり、内（反体制派）と外（NATO 軍）からの包囲の中、ザーウィア製油所からの製品供給はカダフィ政権側にとっては死活的といつてよいほど、重要な意味を持っていると考えられる。また、内外包囲網の中で、軍事物資も含むその他重要物資の供給確保面でザーウィアが重要な役割を果たしてきたとされるだけに、反体制派による制圧ということになるとまさに局面を大きく動かす「きっかけ」となる可能性がある。

2 月に始まったリビアでの内戦は、当初の反体制派の攻勢から、カダフィ政権側の反攻、そして NATO 軍による軍事作戦開始等の経緯を経て、4 月以降は膠着状態に入っていた。もちろん、実際にはその間も激しい対立と衝突が続いていたわけであり、国際的な包囲網が続く中で、徐々に反体制派の支配が広がるようになってきた、と見ることもできるだろう。もちろん、まだこれから先も様々な展開の可能性があり、予断は許されない。

カダフィ政権側は徹底抗戦の構えを崩しておらず、トリポリに接近しつつあるとはいえ、首都防衛の軍事的な備えはまだ失われていない、との見方もある。他方、国連やフランス

の仲介による反体制派とカダフィ政権側の協議・交渉が行われているとの情報や、ザーウィア等の重要拠点制圧を巡る情報とそれによる政権側内部・首都トリポリの勢力切り崩し等、状況は錯綜している面も見逃せない。

しかし、全体として、カダフィ政権を取り巻く状況が厳しさを増していることは確かであり、ザーウィアを巡る攻防と反体制派の制圧報道はそれを象徴していると見てよいだろう。また、この点、パネッタ米国防長官がインタビューの中で、カダフィ政権が弱体化しており、その終わりが近い、との見方を示していることも注目されよう。

新たな局面を迎える可能性が出てきたリビア情勢であるが、これは国際エネルギー市場にどのような意味・影響を持つのだろうか。

2月以降の原油価格高騰に関して、リビア情勢、中でもリビアの原油供給途絶が与えた影響は大きかった。しかし、最近では、状況が膠着する中で、実際には石油供給途絶が続いているにもかかわらず、リビア情勢は国際エネルギー問題、特に原油価格を考える上では、「材料」では無くなっていった。しかし、上述の通り、「局面が動く」とすれば、再び市場の注目がリビア問題に向く可能性がある。その際、予想されることは、反体制派の支配確立（カダフィ政権の崩壊）ということになると、市場はそれを供給回復・市場安定化に向けた好ましい要因と解釈、結果として原油価格下げ要因として働く可能性がある、ということである。もちろん、実際には、仮に政権が変わることになったとしても、供給途絶からの回復には一定の時間がかかることが予想される。問題は市場のパーセプションであり、その意味では市場が好感する可能性は高い。

また、ある程度の時間軸の長さを取ってみると、実際、リビア危機で失われた高品質原油供給が回復し、また欧州向け天然ガス供給も再開されるとなると、特に欧州の石油・ガス需給にとっては大きな意味を持つことになるであろう。その点、今後の展開が、特にブレント価格にどのような影響を及ぼしていくか、は大いに注目されるところである。

世界経済の先行き不安から、8月に入って原油価格には下押し圧力が大きく作用してきた。そのトレンドの中で顕在化しつつあるリビア情勢の新たな動き、というコンテキストで今の状況を見る必要もある。今後の事態の推移・展開次第であるが、世界経済の動きと共に、仮に同一方向（下押し）に作用することになれば、国際エネルギー市場を再び揺り動かす大きな力を発揮するかも知れない。

以上  
お問い合わせ : [report@tky.ieej.or.jp](mailto:report@tky.ieej.or.jp)